

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容（表現Ⅰ）				
担当者氏名	児玉 達郎				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

幼児が自然や身近なものを通じて心で感じたものを表現する手段は、多様にして複合的なものである。その表現力を音楽的な面から指導する保育士・教師に必要な音楽理論とピアノ伴奏法を修得する。

多様な音楽あそびを展開するためには、保育者自らの音楽表現力が幅広く豊かであることが望ましい。様々な演習を通じて保育者として必要な音楽表現能力を修得する。

《授業の到達目標》

- ・音楽による幼児の表現活動の意義と、・幼児期における音感育成の意義について理解できるようになる。
- ・保育士に必要な音楽理論を修得し、保育現場で使用頻度の高い曲のメロディ譜から伴奏譜を作成し、弾き歌いができるようになる。
- ・手遊び歌などの音楽活動を通じて、豊かな音楽表現ができるようになる。

《成績評価の方法》

- 手遊び歌、弾き歌い曲の実技試験 40%
- 期末試験（筆記試験）40%
- 平常点（授業に対する姿勢、課題の取り組み）20%

《テキスト》

指定なし。随時、資料を配布する。

《参考図書》

参考書：適宜紹介する。  
資料：必要に応じて配布する。

《授業時間外学習》

手遊び歌の練習をすること。  
弾き歌い曲（ピアノと歌唱）の練習をすること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	子どもの音楽表現 幼児期の音感育成	音楽による幼児の表現活動の意義について 幼児期における音感育成の意義について
2	手遊び歌	子どもの想像力を広げる音楽表現について 情報機器を活用した教材研究について
3	保育士に必要な楽典	音名、音価、コードネーム、楽譜の書き方について 三和音による伴奏法と、重音や根音による簡易伴奏法について
4	音楽理論・伴奏づけの実 践1	ハ長調の弾き歌い曲（1曲目） 右手のメロディ譜に、左手の伴奏譜を作成する
5	音楽理論・伴奏づけの実 践2	ハ長調の弾き歌い曲（1曲目） 作成した楽譜の弾き歌いを実践する
6	音楽理論・伴奏づけの実 践3	ト長調の弾き歌い曲（2曲目） 右手のメロディ譜に、左手の伴奏譜を作成する
7	音楽理論・伴奏づけの実 践4	ト長調の弾き歌い曲（2曲目） 作成した楽譜の弾き歌いを実践する
8	音楽理論・伴奏づけの実 践5	ヘ長調の弾き歌い曲（3曲目） 右手のメロディ譜に、左手の伴奏譜を作成する
9	音楽理論・伴奏づけの実 践6	ヘ長調の弾き歌い曲（3曲目） 作成した楽譜の弾き歌いを実践する
10	声まね・音まね遊び リズム遊び	様々な動物の鳴き声をまねして声に出す活動 まわりの音に関心を持ち、聴く力・表現力を養う
11	手遊び歌の発表	振り付けアカペラ歌唱による手遊び歌の発表
12	幼児の生活に関する弾き 歌い曲の発表1	幼児の生活に関する弾き歌い曲の発表
13	幼児の生活に関する弾き 歌い曲の発表2	幼児の生活に関する弾き歌い曲の発表
14	絵かき歌の創作	童謡を用いて、替え歌による絵かき歌を自由な発想で創作する
15	総括	音楽表現と音楽理論のまとめ